



芝生の上でおもいっきりキック（親子運動教室 9月9日）

主な内容

- 小池清彦市長の市政報告 …………… 29
救命救急センターを加茂病院に併設
することを求める要望書と署名簿を
泉田知事と小川県議会議長に提出
- 中学生代表団コムソモリスク訪問 …… 1016
- 水道水の水質検査結果 …………… 17
- 加茂の風土記「下条川ダム」 …………… 22

加茂病院は加茂市の宝 加茂病院を盛り立てましょう

市政報告

加茂市長 小池 清彦

救命救急センターを加茂病院に併設することを求める要望書と署名簿を五十人の区長さん方と私とで、泉田知事さんに面会して、提出いたしました。そのあと、小川県議会議長さんにも面会して、提出いたしました。

救命救急センターを県立加茂病院に併設することを求める署名運動が行われ、加茂市民の九十五・九六％に当たる二万八千五百六

十人の方々が署名されました。

さらに加茂市外の住民の皆様も、田上町民千二百二十八人、三条市民七百十二人を含む三千三百十六人の方々が署名されました。

本当にありがとうございます。

そこで早速知事さんに面会を申し込みましたところ、このたび知事さんから面会の承諾があり、九月二十日（木）五十人の区長さんと私とで、泉田知事さんにお目にかかり、署名簿と要望書を提出して、お願いをいたしました。

私からは、要望書の内容を説明し、「救命救急センターを県立加茂病院に併設することが最も合理的で、安くできる、最良の案である。」と要望いたしました。



泉田知事に要望する小池市長と区長の皆さん

後藤区長会長さんは、「九十六%の署名は、いかに切実な思いであるかを理解



金谷県議同席のもと小川県議会議長に要望書を渡す小池市長と区長の皆さん



泉田知事に要望書を渡す小池市長



泉田知事と懇談する小池市長と区長の皆さん

していただきたい。」と強く述べられました。

泉田知事さんは、快く段ボール二箱の署名簿と要望書をお受け取りになり、「要望はしつかり受け止めました。皆さんからも合意づくりのために協力していただきたい。地域の合意を早く形成するためにも、小池加茂市長にリーダーシップを発揮していただきたい。」と述べられました。

知事さんに要望したあと、五十人の区長さんと私は、小川和雄新潟県議会議長さんを訪問し、同じく段ボール二箱の署名簿の写しと要望書を提出し、お願いをいたしました。

この場には、金谷國彦県議会議員さんも同席され、私達と一緒に強く要望されました。

小川県議会議長さんは、「皆様の要望は、御もつともなことであり、その実現に力を尽

くしたい。」と述べられました。

小川県議会議長さんは、金谷県議さんと親しい間柄に見受けられ、対応は極めて好意的で、「泉田知事さんは、救命救急センターを、御自分の郷里の県立加茂病院に置くこととされるべきだ。」との感触でございました。

県央における救命救急センターの併設病院については、県が複数の案を作つて、合同会議（県央の市町村長、医師会長、救急病院長の会議）に報告することになっています。私は、県立加茂病院に併設する案は、まず以つて、当然この「複数の案」の中に入れられるべきものであると考えております。

みんなで頑張りましょう。

泉田知事さんと小川県議会議長さんに提出した要望書を次に掲げます。

県央医療圏の救命救急センターを加茂病院に併設することを求める要望書

県央医療圏に建設する救命救急センターにつきましては、平成二十三年二月十八日の合同会議（神保副知事、県央の各市町村長、三市医師会長、各救急病院長が出席）において、共通認識が合意され、

- (一) 県央医療圏には、救命救急センターが必要であること。
- (二) この救命救急センターは、「地域救命救急センター」であること。
- (三) この救命救急センターは、「病院併設型」とすること。
- (四) 規模は、「地域救命救急センター」で最多病床の十九床を基本とすること。
- (五) 医師数は三十二名とし、その内訳は、救命救急センター専従医五名、麻酔科医四名、併設病院の専門の医師二十三名であること。
- (六) 併設病院の規模等の判断は県に一任することとし、県は、専門的医療の提供や医師確保などの観点も踏まえつつ、五百床規模の実現に向けて努力するとともに、加茂市長の提案も含め、柔軟かつ現実的に検討すること。
- (七) 県は、重要な案件について、「あり方検討会議（知事、担当副知事、県央の各市町村長により構成）」に相談するとともに、検討の状況等を随時関係市町村長、医療関係者等に報告すること。

が合意されました。

ここで、「加茂市長の提案」とは、加茂病院、燕労災病院、吉田病院、厚生連三条総合病院又は三之町病院を三百床から五百床の病院として、そこに十九床の救命救急センターを設置することを具体的に提案したものであります。

次いで平成二十四年二月十五日の合同会議（北島副知事が司会）において、五百床規模の併設病院を設置することとし、そのために必要な二百床を生み出すために、県が各病院等を調整して、病院の再編即ち、病院の廃止・縮小等の案を作つて、次回の合同会議に複数の案を報告することと、「加茂病院の廃止や縮小等は考えていない。」という平成二十年九月五日の知事コメントを尊重することが合意されました。

つきましては、私達は、ここに、貴台に対し、三条市との境界に限りなく近い加茂市下条の地に、県立加茂病院を移転改築して五百床の病院とし、そこに救命救急センターを併設されますことを、最良の案として、御要望申し上げます。

その理由は、次のとおりであります。

- (一) 県立加茂病院は、現在建て替えの時期に来ており、建て替えに合わせて、移転改築すれば、極めて経費の節約になること。
- (二) 必要な広さの土地は、すべて加茂市が無償で提供するので、県の支出は、大幅に少なくてすむこと。
- (三) 加茂病院に救命救急センターを併設する以外の案は、それぞれ困難な問題をかかえており、加茂病院に併設すれば容易かつ円滑に事業を達成することができること。
- (四) 救命救急センターは、県立病院に置くのが最適であり、県央の二つの県立病院にあっては、加茂病院に置く案の方が遥かに地の利を得ていること。
- (五) この場所は、県央各地から救急車で概ね三十分以内で到達できる県央の中心的な場所であること。
- (六) この場所は、建設中の国道四〇三号バイパスに接する好位置にあること。従つて、救急車による搬送にも至便であり、医師や職員の通勤と患者の通院に極めて便利であること。
- (七) 加茂市は、すでにこの場所に、三町歩の土地を取得しており、そのほかにさらに一町二反の

土地を確保しているところであり、さらに合計五町歩でも、六町歩でも、十町歩でもいくらかでも土地を取得することが容易であること。従って、五百床に合わせていくらかでも容易に土地を取得することができること。

以上、私達は、県央地域の住民各位のお幸せのために、加茂市民の九十五・九六％に当たる二万八千五百六十人の加茂市民並びに田上町民千二百二十八人及び三条市民七百十二人を含む三千三百十六人の加茂市外の住民各位の署名を以って、衷心より御要望申し上げます。

平成二十四年九月二十日

県央医療圏の救命救急センターを加茂病院に併設することを求める加茂市民一同

代表

加茂市長

小池清彦

加茂市区長

後藤信夫

加茂市区長会副会長

五十嵐鉄治

同

鶴巻忠継

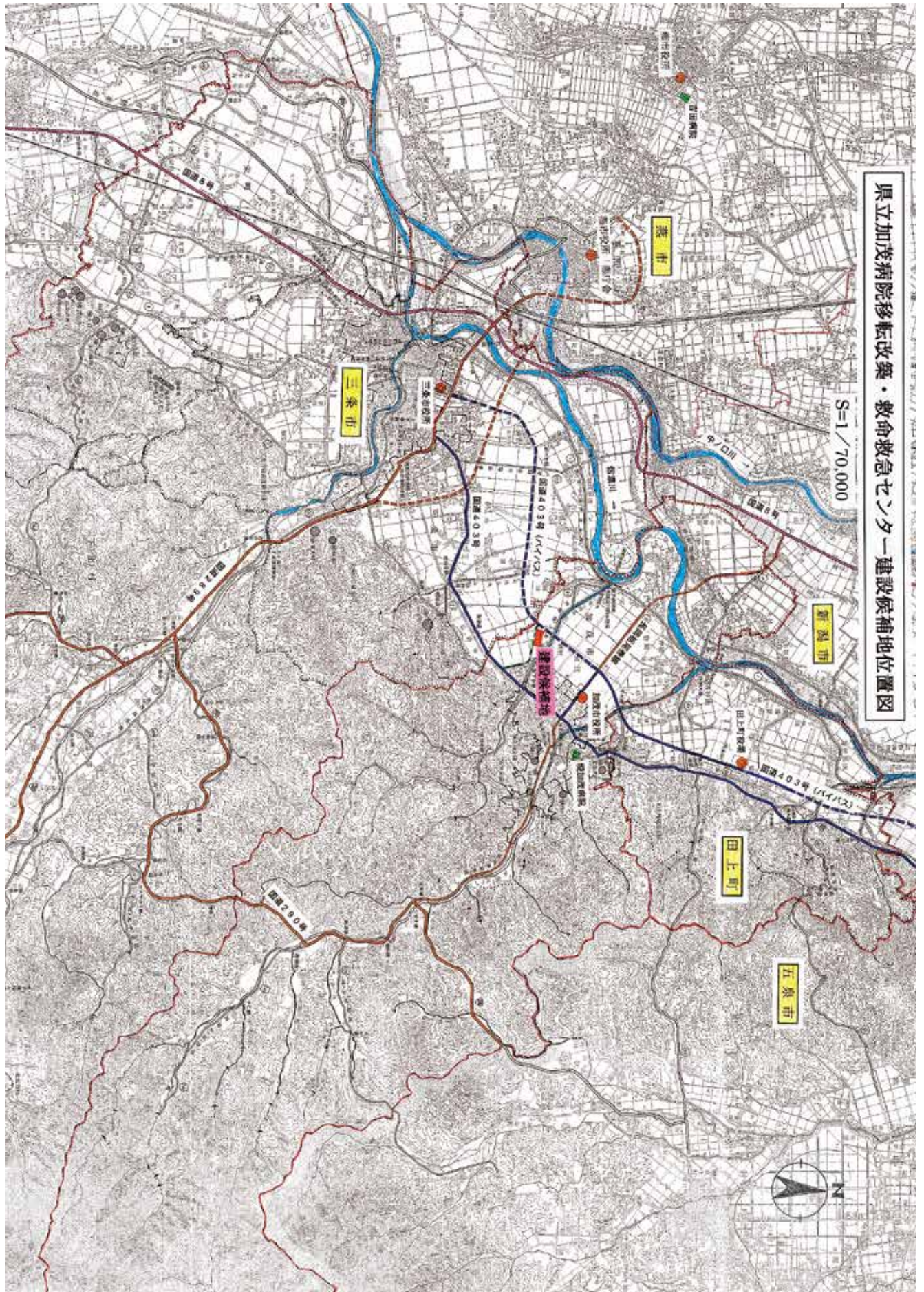
同

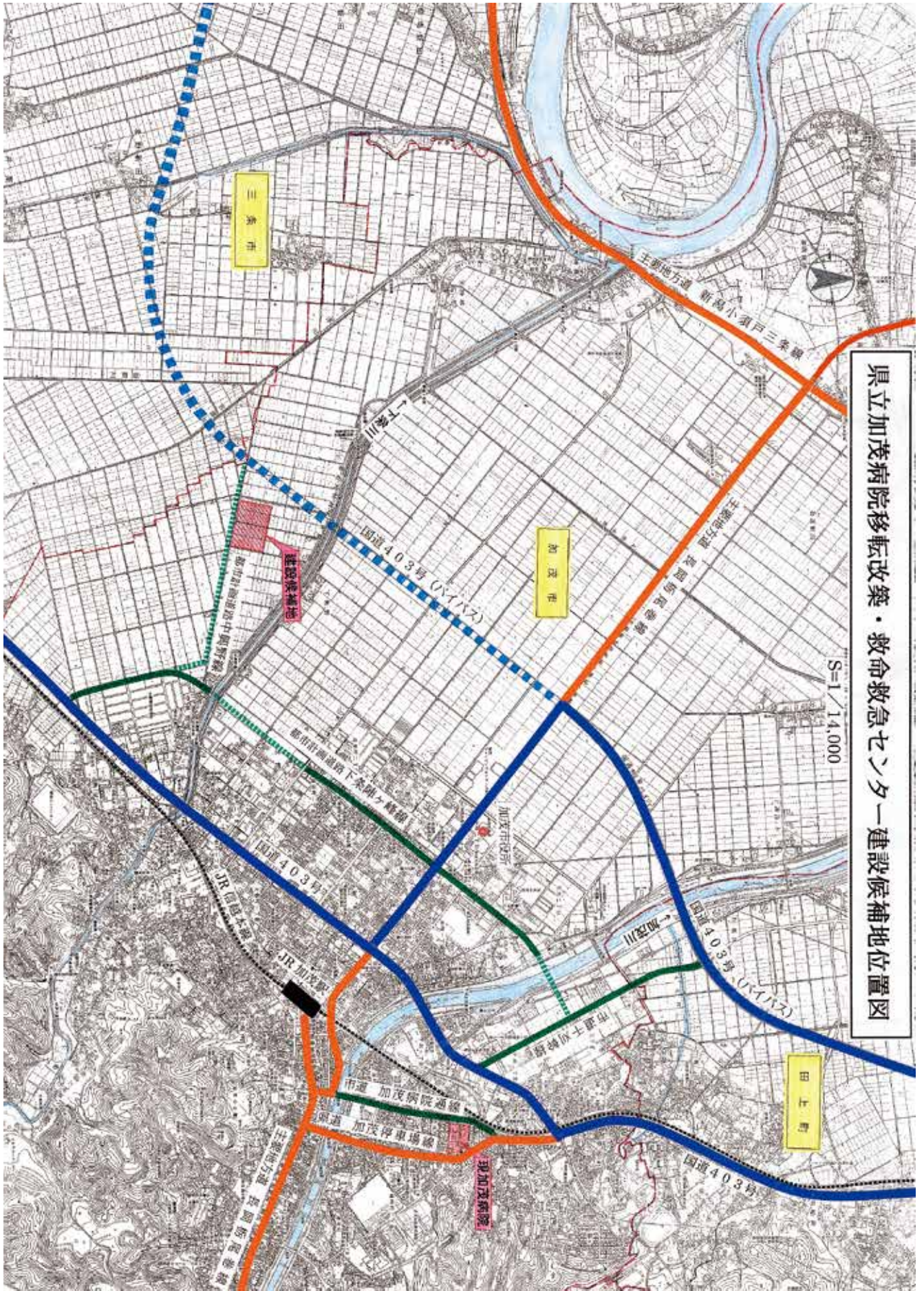
皆川輝一

同

更科正國

新潟県知事 泉田裕彦 様
新潟県議会議長 小川和雄 様





県立加茂病院移転改築・救命救急センター建設候補地位置図

言葉の壁を感じず、交流の輪を広げる



コムソモリスク市訪問中学生代表団 訪問の記録

コムソモリスク市との交流が始まって二十一年。子どもたちの相互交流で加茂市からの訪問も十二回目になりました。六月から事前研修で習ったロシア語や歌、加茂松坂の踊りを、ロシアの子どもたちの前で披露できたそうです。訪問した七月三十日から八月六日の八日間に、代表団の一人ひとりが感じたことを紹介します。

子どもたちの

交流から学んだこと



団長 七谷中学校長
青柳良隆

をむかえました。

平成三年三月のコムソモリスク市代表団の加茂市訪問から始まった両市の交流も二十一年目を迎える今年。十二回目となる中学生派遣団と共にコムソモリスク市へ訪問させていただきました。

加茂の子どもたちの温かな心や思いを伝えよう。

お互いのチームワークをつくりあげよう。

一人一人が目標をもって、今回の訪問に積極的にかかわりましょう。

七月三十日(月)、成田空港を定刻に出発し、雨のハバロフスク空港へ到着し、ハバロフスク市内で宿泊。翌日、朝食の後、貸し切りバスで一路コムソモリスク市へ向かいました。どこまでも続く白樺の林の中を真っ直ぐに伸びる道路が印象的でした。教育施設の訪問、青少年スポーツセンターでの交流や動物園の見学など楽しい時間を過ごし、その後、保養地シャルゴリーでのロシアの子どもたちとの集団生活で交流を深めました。シャルゴリーでの生活が生徒たちにとって、様々な出会いもあり有意義な時間だったようです。八月六日(月)朝六時に大型バスでハバロフスクへ向かい、成田空港へ。成田空港ではロンドンオリンピック

を目標に事前研修をし、訪問当日

クの柔道選手団の帰国の姿もあり、生徒たちの思い出になったことでしょう。

この訪問では、加茂市、コムソモリス市の子どもたちは言葉の壁を感じさせずに交流の輪を広げている様子を肌で感じる事ができました。両市の国際交流に至るまでの歴史的な背景を考えたときに、次代を担う子どもたちが相互の交流を進め、そして友情を深めていくことの大切さを改めて考えさせられました。これまでに百人を超える子どもたちがコムソモリス市を訪問しています。今回参加した十二名の代表団の生徒たちもこの貴重な体験を生かして、代表団の先輩の皆さんとともに加茂市の国際交流の基点となつてほしいと願います。

最後に、この度のコムソモリス市・ナ・アムーレ市訪問の機会を与えてくださいました小池清彦加茂市長様をはじめ、加茂市当局、国際交流協会の皆様に感謝申し上げます。本稿を終わりとさせていただきます。

『絆』を深めた夏のひととき



若宮中学校教諭
竹内沙知

今回青柳団長のもと、生徒を含

め十六名の訪問団は、『人と人との絆を深めること』を大きな目標にロシアを訪問してきた。現地では、練られた様々なプログラムのもと、はじめは団員内でも学校が違うということ、なかなか打ち解けられなく、互いに上手く話せない様子が見られた生徒たちであったが、日に日に積極的に現地の子どもたちとコミュニケーションをとっていくようになっていた。すべてのプログラムを終えてキャンプ地を離れるときは、生徒の中には涙を流し、流れを惜しむ姿も見られた。

振り返ってみれば、どの生徒からも、学校が違う仲間と、八日間ともに海外で過ごすことへの不安が伝わってきた。それが、現地の子どもたちの積極的な声かけもあり、最後には、最初では考えられ

ないくらい、個々の個性をみんなの前で出せるように変わっていた。今回の訪問で生徒たちは、個々の絆、そして国境を越えた仲間との絆を深めたと感じている。帰りには、「もっとたくさんの人と関わりたいから、英語の勉強を頑張りたい。」と新たな目標を見つけた生徒もいた。

ぜひ生徒たちには、今回の訪問をきっかけに、新たな目標を掲げ、一歩ずつ歩んでいってほしい。

ずっと忘れない



加茂中学校 2年 海
石平七

七月三十日からおよそ一週間、私は日本を離れロシアという文化にふれる機会をいただきました。

向こうで経験したことはどれも新鮮で楽しいものでした。その中でも私が一番印象に残っているのは四日目からおよそ三日間過ごした、シャルゴリーというキャンプ地で



のことです。キャンプ地の子たちはみんな明るくフレンドリーで、日本から来た私たちにとても積極的に声をかけてくれました。しかしロシア語なので内容は分からず、話してくれているのに理解できないことが申し訳なく思いました。それでも向こうの子たちは相手に分かってもらえるように一生懸命話してくれたのでとても嬉しかったです。

この一週間、長いようで短い期間でしたが、本当にたくさん素敵な体験をさせてもらいました。今回感じたことや数えきれない程の思い出を私はずっと忘れません。

毎日が新鮮



加茂中学校 2年
久保綾香

ロシアでの八日間で、私はたくさんの経験や知識を得ることができました。

海外一週間滞在は初めてで不安でしたが、研修を通して仲間達との友情も深まり、不安は期待へと

変わっていきました。

現地では、子供創作宮殿や美術館などの施設を見学させてもらいロシアの歴史を学んだり、ルーブルで買い物をして、工芸品を身近に感じたり、と初めての経験ばかりで毎日が新鮮でした。

保養所「シヤルゴリー」では、ロシアの子達とレクリエーションやデイスコをして交流を深めました。その中で仲良くなった子ができ、お土産を交換することで異文



化に触れることもできたと思います。

一週間、共に過ごした十一人の仲間達と引率の先生方、そしてこの機会を与えてくださった国際交流協会の方々にはとても感謝しています。本当にありがとうございます。

学んだこと



加茂中学校 2年
横山太星

私は、この訪問で、ロシアの人々の接し方を学んだ。彼らは、お互い初対面なのに、ものすごくフレンドリーで、ロシアには「人見知り」という言葉がないのかと思うくらい、全員が、積極的だった。私は最初、この積極性に押されて、参加者というよりは見学者になっていった。しかし、一日一日体験を重ねるうちに、彼らと同じように、積極的に参加できるようになった。しかし、また、確実に

取得できたわけではない。私は、この誰とでも仲良く接することや、積極的に活動することは、社会に出て、とても大切なことだと思う。今のうちから社会へ出て役に立つように、この人見知りの性格を克服しなければならぬ。初対面の人でも恥ずかしがらず、何でも積極的に取り組めるようになりたい。今回、ロシア訪問でロシアの方々のすばらしい接し方を学んだので、これからの日常生活の中でそれを実践し、ロシアに行ったおかげで変わったと言われるように成長していきたい。



異文化の素晴らしさ



葵中学校3年
坂内 佑太郎

自分がこの度、ロシアという未知の世界に行かせてもらい改めて気付いた事や感じた事がとても多くありました。その中でも特に印象に残ったのは、文化の違いや習慣の違いでした。

自分は、これまで日本という世界から見れば小さい国の中での文化や習慣に対しての知識しかありませんでした。しかし、今回国境を越えての交流を行ったことにより、さらに自分の知識を広げることができました。時には、言葉が通じず困惑することやロシアの習慣に慣れることができず、その上、新しい驚きばかりで唖然としていた時間も多かったと思います。でも、そのような事をくり返していくうちにまた一段と深く文化を知ることができました。そして、十四才という若さでこのような経験をできた事は、今後の

の人生の糧となったと思います。今後はさらに異文化について学んでいけるように努力していきたいです。



一生の宝物



葵中学校2年
吉川 美優

私は、この旅でたくさんのお話を学び、自分が成長したと思います。私が学んだこと、一つ目は、笑顔の大切さです。私は、ロシアの子と遊んでいた時に、暗そうな顔をしている人よりも笑顔の人の方

が話しかけやすかったです。でも、自分がいつも笑顔でいるという訳ではないので、笑顔でいられるようにしたいと思います。

二つ目は、ありがたうの大切さです。私がお土産をあげると、「スパシーバ」と言ってくれました。逆に私がお土産をもらって「スパシーバ」と言うと、くれた人も笑ってくれました。「ありがたう」は、世界共通の言葉なんだなあと思いました。

私は、ロシアに行けて本当に良かったと思います。最後に、加茂市長さんをはじめ、関係者の皆さん、本当にありがとうございます。この旅は、一生の宝物です。



2012.08.03

貴重な体験



七谷中学校3年
阿部 裕太

この八日間、僕が一番印象に残ったのは、キャンプ地での活動です。そこで特に楽しかったのは、コスモスでのキャンプファイヤーです。その時の炎はとてもきれいでした。さらに、キャンプファイヤーが燃えるのと同時に、僕等はロシアの人たちと一緒に歌を歌いました。とてもいい思い出になりました。終わった後も、写真を撮

ったり、日本のお土産を渡したりするなど、たくさんのお思い出を作りました。

最後になりますが、僕はロシアに行けて本当に良かったと思います。最初は行かなくていいと思っていたのに、行ってみると、楽しいことばかりでした。この旅を支えてくれた青柳校長先生、竹内先生、マリーナさん、代表団の皆さん、市関係者の皆さん本当にありがとうございました。スパシーバ。

一生忘れられない夏



若宮中学校 3年
古川 空 美

私はこの八日間が来るまで、楽しみに気持ちと不安な気持ちでいっぱいでした。ロシア語は研修で少し習ったくらいで、ちゃんとやっつけていけるだろうか、心配でした。いざ行ってみると、やはり街はロシア語であふれていましたが、通訳のマリーナさんにいろいろな事

を教えてもらって、困ることなく過ごせました。ロシアの街並みは、日本と違い色鮮やかで感動しました。八日間いろいろな場所を見学し、どれも素晴らしいものでした。一番印象に残っているのは「シャルゴリー」というキャンプ地です。

ロシアの子供たちと踊ったり、一緒に遊んだりしてとても楽しかったです。いつかもう一度行きたいです。

この八日間で私は仲間の大切さと積極性を学びました。このことは今後の学校生活に活かしたいです。仲間と一緒に最高の夏の思い出ができました。ありがとうございました。



最高の思い出を ありがとうございます



若宮中学校 2年
海 津 雪 乃

ナさんを通してよく学ぶことができました。私はロシアでの出来事を今後のスポーツや勉強、生活にしっかり活かしていきたいです。ロシアという国についてもっと知りたいし、伝えたいと思いました。短かった八日間は一生の宝物です。私を支えてくださった市役所の方々、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。そして事前研修で協力してくれた方々、十一人のみんな、背中を押してくれた家族や友達、本当にありがとうございました。

私はコムソモリスク市での八日間は一生忘れることのない大切な思い出になりました。言葉がお互いに通じない中で交流は大変でしたがお互いに理解し合って交流を深めました。ロシアの子ども達は兄弟のように接してくれてとても嬉しかったです。コムソモリスク市の食生活や文化、歴史はマリー



一生の宝物！ ロシアへの旅



若宮中学校 2年
船久保 陽子

今回のロシアへの旅は、一生心に残る貴重な経験になりました。ロシアと日本の文化の違いをたくさん学ぶことができました。昔のロシア人は、動物や植物などの自然を大切にしていたこと。ロシアの家庭では、お守りを、心を込めて一つ一つ手作りすること。夜遅



くまでみんなでダンスをして楽しむこと等々。

ロシアの子供たちとの交流を深めることもできました。ロシアの子供たちは、私たちにダンスの振り付けなど教えてくれました。実際にいっしょに踊ってくれて、とても楽しかったです。

最後になりましたが、ロシアへの旅の準備をしてくださった市長さんをはじめ関係の方々、本当にありがとうございました。おかげで最高の思い出を作ることができました。

本当に毎日が楽しくて、あっという間に過ぎた一週間でした。この旅は一生の宝物です。



ロシアでの思い出



須田中学校 2年
高橋 晨

私がロシアで一番思い出に残っているのは、「シャルゴリー」という保養所での出来事です。

始めロシアに行った時は、不安とか緊張で、何かなんだか分からず、みんなについて行くのがやっとならなくて、でも慣れてくるとみんなと話をする回数が増えていった、すごく楽しい気分になりました。

その「シャルゴリー」では、ロシアの人達と遊びました。サッカーをしたりバレーボールをしたり、バドミントンもしました。もうとにかくすごく楽しくて、一生忘れる事ができないような思い出を作れました。

この思い出が作る事ができたのは、全て加茂市のおかげです。またいつか海外へ行きたいという思いも出てきました。本当にこんな貴重な体験をさせてくれて、自分

の世界が広がりました。本当にありがとうございました。



最高の思い出を ありがとう



燕中等教育学校 3年
成瀬 龍司

私がロシアへ行って一番感動した景色はコムソモリスク市の川です。その川はアムール川という名前です。実は、コムソモリスク市の正式名称は、コムソモリスク・ナ・アムールといい、名前がアム

ール川と関係しています。それほど、アムール川はコムソモリスク市にとって大きな存在なのです。何がそんなにすごいかというと、その大きさです。大きいところは、川の幅が四キロくらいあるそうです。さすがロシア、信濃川とは比べものになりません。やはりロシアの第一印象は「でかい」で

文化の 違いを通して見た日本



新潟明訓中学校3年
高橋 侑里

親元と学校と私を取り巻く地域社会を離れたロシア滞在は、私にとって新しい発見ばかりで私の中の新しい世界が広がり、自己を見つめた一週間でした。日本では見ることのできない景色や建物を見る：これだけでも、世界の広さを感じます。私は、次々に体験する未知の出来事の全てに、胸を躍らせながら一日一日を過ごしていま

した。ひたすら広がったです。ちなみにロシアの人も大きかったです。縦にでかい人も、横にでかい人も、やはり日本人とは比べものになりません。

最後に、ロシアの人の心はロシアのように広く、いつも優しくしていただきました。いつかまたロシアに行きたいと思っています。

した。

私はこの一週間ロシアを見て、ロシアを感じることで、日本の良さに気付き、より深く日本を知ることができました。ロシアという異国の地から見た日本はとても素敵な国でした。私は日本人としての誇りを持つことができました。その気持ちを大切にして過ごし、何事にも一生懸命取り組み、失敗を恐れず挑戦していきたいです。今度外国へ行くときは、今回感じた「伝えられない」もどかしさを乗り越え、自分の力で自分の意見を伝え、コミュニケーションをしていきたいです。いつかまた、思いの地、「ロシア」へ行きたいです。

コムソモリスク・ナ・アムール市訪問 中学生代表団

青柳良隆（団長：七谷中学校長）
竹内沙知（若宮中学校教諭）
石平七海（加茂中2） 古川空美（若宮中3）
久保綾香（加茂中2） 海津雪乃（若宮中2）
横山太星（加茂中2） 船久保陽子（若宮中2）
坂内佑太郎（葵中3） 高橋 晨（須田中2）
吉川美優（葵中2） 成瀬龍司（燕中等3）
阿部裕太（七谷中3） 高橋侑里（新潟明訓中3）
マリーナ・レベデワ（通訳）
小柳貴之（加茂市総務課主査）



コムソモリスク・ナ・アムール市訪問日程

- 7月30日 市役所出発。成田空港からハバロフスクへ。天気は雨。インツーリストホテルに宿泊。
- 31日 ハバロフスクからバスでコムソモリスク市へ移動。郷土博物館訪問。美術館で美術工芸製作を体験。コムソモリスク市役所表敬訪問。歓迎夕食会に出席
- 8月1日 第133番保育園、子供創作宮殿、第27番学校、航空機製造工場の博物館、動物園訪問。
- 2日 青少年センター訪問。ロシア料理教室体験。保養所シャルゴリへ。
- 3日 シャルゴリのレクリエーションと交流プログラム。
- 4日 シャルゴリ、コスモスで交流プログラム。コスモスでキャンプファイヤー。
- 5日 コムソモリスク市内の市場や市街地を見学。
- 6日 ハバロフスクへ移動。ロシアを出国し、成田空港へ。市役所に午後8時45分到着。

厳しい検査 安全な水

水道水の 水質検査結果

皆さんが何気なく使っている「水」。実はとても厳しい検査を通じて、蛇口から流れてくるのです。

市内の水道水は、宮寄上と三条広域水道（三条地域水道用水供給企業団）で作られて配水されており、毎日欠かさずに厳しく、細やかな水質検査が行われています。これは水道水が皆さんの健康に直接影響するもので、その水質には一瞬の油断もできないからです。

このほかにも水道局では、定期的に水道水の水質を専門機関で検査しており、その検査の結果は、毎年広報でもお知らせしてきました。今回の検査結果は、下表のとおりで、いずれの項目も基準値を十分に満たしています。

水道水の水質については、天神林浄水場（☎52-0999）へお問い合わせください。

水道法第4条に基づく水質基準項目

区分	番号	基準項目	基準値	単位	平成24年8月1日 給水栓採水結果	
					宮寄上系(桜沢系・桜沢)	企業団系(都ヶ丘系・千刈)
健康に関する項目に 関する 項目		気温		℃	31.0	29.5
		水温		℃	25.0	27.0
		残留塩素	0.1 mg/l 以上		0.40	0.26
	01	一般細菌	100 個/ml 以下		0	0
	02	大腸菌	検出されないこと		不検出	不検出
	03	カドミウム及びその化合物	0.003 mg/l 以下		0.0003 未満	0.0003 未満
	04	水銀及びその化合物	0.0005 mg/l 以下		0.00005 未満	0.00005 未満
	05	セレン及びその化合物	0.01 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	06	鉛及びその化合物	0.01 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	07	ひ素鉛及びその化合物	0.01 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	08	六価クロム化合物	0.05 mg/l 以下		0.005 未満	0.005 未満
	09	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	10	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10 mg/l 以下		0.22	0.08
	11	フッ素及びその化合物	0.8 mg/l 以下		0.08 未満	0.08 未満
	12	ホウ素及びその化合物	1 mg/l 以下		0.1 未満	0.1 未満
	13	四塩化炭素	0.002 mg/l 以下		0.0002 未満	0.0002 未満
	14	1,4-ジオキサン	0.05 mg/l 以下		0.005 未満	0.005 未満
	15	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	16	ジクロロメタン	0.02 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	17	テトラクロロエチレン	0.01 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	18	トリクロロエチレン	0.01 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	19	ベンゼン	0.01 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	20	塩素酸	0.6 mg/l 以下		0.06 未満	0.07
	21	クロロ酢酸	0.02 mg/l 以下		0.002 未満	0.002 未満
	22	クロロホルム	0.06 mg/l 以下		0.002	0.006
	23	ジクロロ酢酸	0.04 mg/l 以下		0.004 未満	0.004 未満
	24	ジブromクロロメタン	0.1 mg/l 以下		0.002	0.003
	25	臭素酸	0.01 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	26	総トリハロメタン	0.1 mg/l 以下		0.007	0.015
	27	トリクロロ酢酸	0.2 mg/l 以下		0.02 未満	0.02 未満
	28	ブromジクロロメタン	0.03 mg/l 以下		0.003	0.006
	29	ブromホルム	0.09 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	30	ホルムアルデヒド	0.08 mg/l 以下		0.008 未満	0.008 未満
	31	亜鉛及びその化合物	1 mg/l 以下		0.002	0.002
	32	アルミニウム及びその化合物	0.2 mg/l 以下		0.01 未満	0.02
	33	鉄及びその化合物	0.3 mg/l 以下		0.03 未満	0.03 未満
	34	銅及びその化合物	1 mg/l 以下		0.01 未満	0.01 未満
	35	ナトリウム及びその化合物	200 mg/l 以下		5.4	10.5
	36	マンガン及びその化合物	0.05 mg/l 以下		0.001 未満	0.001 未満
	37	塩化物イオン	200 mg/l 以下		5.3	7.5
	38	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300 mg/l 以下		19	20
	39	蒸発残留物	500 mg/l 以下		34	52
	40	陰イオン界面活性剤	0.02 mg/l 以下		0.02 未満	0.02 未満
	41	ジエオスミン	0.00001 mg/l 以下		0.00001 未満	0.00001 未満
	42	2-メチルイソボルネオール	0.00001 mg/l 以下		0.00001 未満	0.00001 未満
	43	非イオン界面活性剤	0.02 mg/l 以下		0.005 未満	0.005 未満
	44	フェノール類	0.005 mg/l 以下		0.0005 未満	0.0005 未満
	45	有機物質(TOC)	3 mg/l 以下		0.6	0.7
	46	P	5.8-8.6		7.1	7.3
	47	味	異常でないこと		異常なし	異常なし
48	臭気	異常でないこと		異常なし	異常なし	
49	色度	5度以下		0.5度未満	0.5度未満	
50	濁度	2度以下		0.1度未満	0.1度未満	

平成23年度 下半期の財政状況

加茂市には、どのようなお金が入り、何に使われているのか…。市では毎年二回財政状況を公表しています。今回は、平成24年3月31日までの財政状況をお知らせします。

■一般会計

予 算 額 155億6,447万円
 収入済額 117億5,088万円 (収入割合71.6%)
 支出済額 116億6,099万円 (支出割合74.9%)

上段：予算額 下段：収入済額		歳 入	歳 出	上段：予算額 下段：支出済額	
39億 607万	39億 607万	地方交付税	民生費	40億4,600万	37億8,080万
30億 478万	12億9,384万	諸収入	商工費	28億1,605万	12億5,585万
28億3,824万	27億5,883万	市 税	土木費	16億4,529万	11億2,194万
14億4,723万	2億6,510万	市 債	公債費	14億9,020万	14億2,952万
13億6,970万	4億6,808万	県支出金	教育費	14億8,636万	12億4,316万
13億 793万	10億2,208万	国庫支出金	総務費	10億8,798万	8億 149万
4億3,622万	4億3,234万	繰入金	衛生費	7億6,873万	6億9,749万
12億5,430万	9億9,222万	その他	その他	22億2,386万	13億3,074万

■特別会計

項 目	予 算 額 (万円)	歳 入		歳 出	
		収入済額 (万円)	収入割合 (%)	支出済額 (万円)	支出割合 (%)
国民健康保険	32億6,756	29億4,948	90.3%	29億4,948	90.3%
後期高齢者医療	2億7,594	2億6,974	97.8%	2億6,730	96.9%
宅地造成事業	3億5,006	3,080	8.8%	904	2.6%
下水道事業	19億8,323	14億7,169	74.2%	14億7,169	74.2%
介護保険	25億6,750	24億6,080	95.8%	23億1,540	90.2%
在宅介護サービス事業	5億 2	5億 338	100.7%	4億8,649	97.3%
合 計	89億4,431	76億8,589	85.9%	74億9,940	83.8%

■水道事業会計

項 目	歳 入			歳 出		
	予 算 額 (万円)	収入済額 (万円)	収入割合 (%)	予 算 額 (万円)	支出済額 (万円)	支出割合 (%)
収益的	5億4,335	4億9,625	91.3%	5億9,271	5億6,399	95.2%
資本的	4,556	2,481	54.5%	1億5,402	1億2,858	83.5%

※収益的収入からは減価償却費として2億4,276万円が天引きされ、これが留保財源（貯金）となります。収入と支出の差は、この留保財源（貯金）で補てんされ、余った分（黒字）は翌年度へ繰り越されます。この翌年度へ繰り越される留保財源（黒字）は7,124万円です。

土 地	1,290,509㎡
建 物	134,656㎡
構 築 物	233基
基 金	3億6,320万円 95,244㎡

一 般 会 計	105億9,182
下水道事業会計	128億 791

※市債現在高は105億9,182万円ですが、国が全額負担する分を除くと66億2,958万円となり、これを返済するとき国がさらにその一部を負担しますので、実際に加茂市が返済する金額は44億5,301万円となります。

歯を大切にしてスポーツを楽しむ①

「スポーツは歯が命」

からだの健康のためには、歯とお口の健康が欠かせません。さらに、からだを動かしたり、スポーツをするためにも、歯とお口の健康が非常に重要なのです。

☆からだと歯、スポーツと歯の関係
からだに栄養を取り入れるためには、よく噛んで食べることが基本です。

歯とお口の健康は、全身の健康のために大切ですが、からだを動かすためにも、健康な歯と咬み合わせが重要であることがわかってきています。スポーツをするとき、十分に力を発揮するためにも歯とお口の健康が欠かせません。

☆一流のアスリートは

歯を大切にしている

一流のアスリートの間では、歯

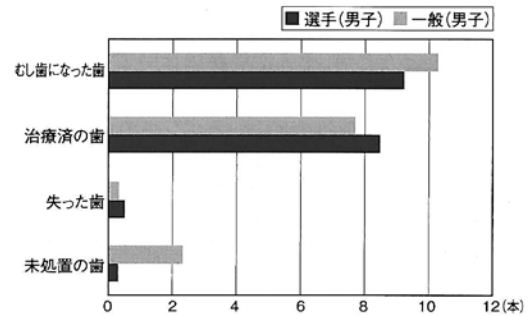


を大切にすることが常識となっています。

例えば、海外で活躍しているプロサッカー選手が、かかりつけの歯科医院で歯の治療を受けるためにわざわざ帰国して、話題になったことがあります。大リーグで活躍するイチロー選手は、一日五回、歯を磨くとも言われています。また、わが国のトップレベルの選手を調べたところ、一般の人よりもむし歯が少なく、未処置の歯もほとんどありませんでした。

スポーツ選手のむし歯は少ない

(1)男子スポーツ選手と同年代の人のむし歯(1人平均本数)



☆噛む力とパワーには

深い関係がある

プロ野球選手が試合中にガムを噛んでいるのは、脳への血流を活発にして集中力を高め、より瞬発力を発揮できるようにするためだとか。

スポーツをするときは、しっかりと奥歯を噛み締めるとよりパワーが出るといわれています。個人差もあると考えられますが、一般人男子の総咬合力(そうこうごうりょく)を測定したところ、 $9 \text{ kg} \cdot \text{f}$ (重量キログラム)であったという研究報告もあります。

スポーツ選手は一般人の人とくらべて噛む力が強くなっています。とくに、姿勢を安定させて集中力を高めることが大切なライフル射撃や、ボート競技の選手では、一般人の人の三倍近くも咬合力があります。

☆咬み合わせがよいと

バランスが安定する

咬み合わせは、からだのバランス感覚にも大切なことがわかっています。

これは、歯と歯がきちんと咬み合うことで、頭の位置が固定され、腰の位置も安定するからです。

また、総入れ歯の人に、入れ歯を外した場合と入れ歯をした場合で直立してもらって、からだの揺れを調べたところ、入れ歯をしていないとほとんどからだ揺れがないのですが、入れ歯を外すとかなり揺れ幅が大きくなりました。これらことから、入れ歯をすると高齢者の転倒予防に効果があると考えられます。

(加茂市歯科医師会)

総体結果

バレーボール

期 日 八月二十六日
会 場 下条体育センター

【家庭婦人の部】
優勝 つかさクラブ
準優勝 あじさい

硬式テニス (シングルス)

期 日 九月九日
会 場 庭球場(駒岡)

【Aクラス】▼男子①鈴木雄也(加茂ローン)②桜沢亘(勤少テニス)③金子隼人(日立ニコ)、橋本国定(日立ニコ)▼女子①宮田有佳(日立ニコ)②大桃さおり(加茂テニス)
【Bクラス】▼男子①阿藤慧(日立ニ



コ)②田中宏典(加茂農林高)③本間雄貴(加茂高)▼女子①吉田茉穂(加茂高)②酒井優(加茂高)③高山未来(加茂高)、坂内結華(加茂高)

ソフトテニス

期 日 九月十六日
会 場 庭球場(駒岡)

※選手により出場クラスが異なります。

【小学生女子の部】①福島要・前山愛(加茂小)②馬場優芽・阿部瑞希(石川小)③樋口星架(加茂小)・大湊亜実(石川小)



【中学生女子の部】①渡辺朱音・岡琴李(加茂中)②須田悠芽・佐藤南暉(田上中)③藤田愛莉・古田嶋愛(田上中)、瀧澤有梨・塩見ひかり(葵中)
【一般女子の部】①坂田恵(葵中)・福島美月(加茂農林高)②佐藤千秋(新津南高)・前山知香(三条商業高)③真木田優衣・渡辺唯(加茂中)
【一般男子の部】①泉田武弘・浅野喜一(協会)②坪谷拓人・永井悠太郎(若宮中)③齊藤惇・石塚翔也(若宮中)

バドミントン

期 日 九月十六日
会 場 勤労者体育センター

【シングルス】▼小学生女子①吉原未

菜美(加茂小)②吉澤乃愛(加茂小)

③吉田夢子(加茂小)、濱井薫(加茂南小)▼高校一般男子Aクラス①松澤輝(むすぶクラブ)②中村健一(栄羽会)③瀧澤雅彦(春一番)、阿部一明(むすぶクラブ)▼同Bクラス①佐藤祐輔(下田協会)②平井昇(下田協会)③小柳裕司(春一番)、柳生田亘(葵)▼同Cクラス①石澤秀樹(県央工業高)②渡邊弘貴(パチスタ)③坂爪綜汰(加茂農林高)、小柳雄貴(加茂農林高)▼高校一般女子Bクラス①関川緑(青海クラブ)②星井遥香(加茂高)▼同Cクラス①鈴木千佳(スポ少)②齊藤実希(加茂農林高)③高橋由衣(加茂農林高)、高橋香織(加茂暁星高)

【ダブルス】▼小学生女子①吉原未菜

美・吉澤乃愛②吉田夢子・濱井薫③中村勇貴(石川小)・番場美月(下条小)、高野未来(石川小)・坂上舞(下条小)▼高校一般男子Aクラス①茂野俊輔・矢部哲成(春一番)②瀧澤雅彦・梅津英考(春一番)③加藤亘・白井崇(YBC)、下村英輝・坂上勝志(春一番)▼同Bクラス①佐藤祐輔・平井昇②岩瀬和宏・小柳裕司(春一番)③田澤徹・木村大樹(春一番)、柳生田亘・森田新一郎(葵)▼同Cクラス①藤井正樹・小林照雄(青海クラブ)②保坂裕一・丸山崇志(KBS48)③相澤勇希・小柳雄貴(加茂農林高)、坂爪綜汰・栗山堅翔(加茂農林高)▼高校一般女子Bクラス①鈴木和子・星野千香子(あひるの会)②佐々木智子・迎野和佳子(葵)③青木恵子・五十嵐真喜子(葵)、古山一美・番場由美子(あひるの会)▼同Cクラス①渡辺美桜・高橋香織(加茂暁星高)②山田ユミ・照井真貴子(パチスタ)③星祐子・荒井雅子(KBS48)、永野遥・齊藤実希(加茂農林高)

空手道

期 日 九月十六日
会 場 下条体育センター

※選手の所属名はスポーツ少年団・協会を表しています。



柔道

期日 九月二十二日

会場 下条体育センター

【個人戦】▼小学校二・三・四年生の部

①松永花佳(加茂小) ②有本和希(加茂小) ③中林泰成(加茂小)▼小学校五・六年生の部(軽量級) ①横山拓巳(加茂小) ②原竜弥(石川小) ③有本みのり(加茂小)▼小学校五・六年生の部(重量級) ①渡辺大輔(石川小) ②松永鴻太(加茂小)▼中学生の部 ①小林慎之介(加茂中) ②深澤卓幹(加茂中) ③寺澤創太(加茂中)▼女子の部(中学生以上) ①富井優可子(加茂農林高) ②宇野ももか(加茂農林高) ③星野芽季(加茂農林高)▼高校・一般の部 ①高山大祐(加茂柔道会) ②斎藤力(加茂農林高) ③河田陽介(加茂柔道会)、高野亮介(加茂農林高)

【団体戦】▼小・中学生の部 ①片岡優成(加茂南小)・原竜弥・寺澤創太 ②松永花佳・松永鴻太・有本友也(葵中) ③有本和希・有本みのり・深澤卓幹・中林泰成・渡辺大輔・中林成希(加茂中)

【紅白勝ち抜き戦】▼優秀選手 片岡優成、原竜弥、松永鴻太、有本友也

【形】▼小学生低学年男子 ①伊丹陸(加茂) ②高橋勇多(三条) ③安中大和(加茂)▼小学生低学年女子 ①松沢美玖(小須戸) ②山川竜姫(田上) ③吉田凜(三条)▼小学生高学年男子 ①渡部翔矢(加茂) ②瀧澤翔輝(三条) ③伊丹駿(加茂)▼小学生高学年女子 ①渡部幸(加茂) ②船久保穂香(加茂) ③岡美羽(加茂)▼中学生男子 ①荒井仁弥(三条) ②小林智也(白根) ③野水大熙(三条)▼中学生女子 ①山岸実加(加茂) ②齊藤柗南(田上)▼一般男子 ①水野秀樹(田上) ②泉田武正(田上)▼小学生団体戦 ①三条大崎 ②加茂A ③加茂B

【組手】▼小学生低学年男子 ①渡辺海斗(小須戸) ②伊丹陸 ③水野朝陽(田上)▼小学生低学年女子 ①松沢美玖 ②山川竜姫 ③泉田柗奈(田上)▼小学生高学年男子 ①瀧澤翔輝 ②吉田拳志郎(三条) ③田中颯(田上)▼小学生高学年女子 ①渡部幸 ②井上笑美子(田上) ③本間みお(加茂)▼中学生男子 ①窪田達也(田上) ②高橋秀(小須戸) ③野水大熙▼中学生女子 ①船久保遙(加茂) ②山岸実加 ③齊藤柗南▼一般男子 ①水野秀樹 ②田浦和哲(白根) ③齊藤真人(加茂)▼小学生団体戦 ①田上空手クラブA ②田上空手クラブC ③田上空手クラブB

第12回加茂市長杯 冬鳥越クロスカントリー大会

期日 九月二十三日

会場 冬鳥越スキーガーデン周回コース

出場者数 3コース・8部門・40名

【2周3.0kmコース】▼小学生男子 ①野村晃生(石川小) ②小柳洗平(七谷小) ③鶴巻駿平(七谷小)▼小学生女子 ①石平歩那(石川小) ②土橋輝(羽生田小) ③梅田実莉(七谷小)

【3周4.5kmコース】▼中学生男子 ①梅田太成(七谷中) ②江平翼(葵中) ③小柳泰治(七谷中)▼中学生女子 ①内田詩乃(三条第一中)▼一般高校女子 ①齊藤亜津子

(三条市) ②青柳ともえ(ヤマト運輸株)▼壮年男子 ①高井滋(三条市) ②田代修(新潟市) ③小柳健一(新潟中央短期大学)▼壮年女子 ①皆川敬子(加茂市) ②外山寿美(柏崎市)

【4周6.0kmコース】▼一般高校男子 ①渡辺寅貴(加茂高) ②東樹努(加茂市役所) ③佐藤誠(三条市)

第25回新潟県スポーツフェスティバル中越地区大会 ラケットテニス大会成績

期日 九月二十三日

会場 勤労者体育センター

【混合ダブルス】①田辺正人・金内ひろみ(長岡市) ②猪爪一郎・中村京子(柏崎市) ③山田喜良・山田のり子(さわやか下条)、小黒弘・大矢奈保美(柏崎市)

【男子ダブルス】①田辺正人・高橋誠(長岡市) ②下村公一・遠山豊彦(KRT) ③松原信道・川俣美明(KRT)、猪爪一郎・小黒弘(柏崎市)

【女子ダブルス】①中村京子・小黒起美代(柏崎市) ②根本久美子・大矢奈保美(柏崎市) ③金内ひろみ・大関美樹子(長岡市)、中澤悦子・田辺ツユ子(柏崎市)



下条川ダム

下条川は、高館山に源を発し、天神林で信濃川にそそぐ。下条川の上流、長福寺集落を一キロほどさかのぼると下条川ダムがある。へら鮒釣りのメッカとして全国に知られ、四季を問わず県内外から

多くの釣り人が訪れる。平成十年の秋以来、主として加茂市が毎年数千尾を超えるへら鮒を放流し、資源の維持に努めている。下条川は古くからたびたび洪水に見舞われたが、中でも昭和四十

四年（一九六九）八月の水害では、流域に甚大な被害をもたらした。

下条川ダムは、これを契機に洪水を防ぐ治水ダムとして昭和四十六年に着工、事業費十二億七千万円で昭和四十九年三月に竣工した。湛水面積二十二ヘクタールは市内最大のダム湖で、周囲にはソメイヨシノ（染井吉野）、ヤエザクラ（八重桜）が植えられている。

平成六年に「地域に開かれたダム」として国の指定を受け、「緑につつまれたダム」「自然にやさしい環境づくり」をキーワードに、ダム周辺の整備が進められた。この事業により、トンボ生態園・湿性植物園・自然学習館・キャンプ場など、自然環境教育のための施設が充実した。加えて、魚釣り場や水辺の木道も作られ、水に気軽に親しめるよう配慮されている。

へら鮒釣りの名所としてはもとより、アウトドアレジャーの基地にも好適。小・中学生、高校生の野外学習の場としてもっと広く利用されてほしい。

（長谷川昭一）

加茂の風土記



つり橋やダム湖周囲も整備されていて、散策コースとしても知られている下条川ダム。

おきなごき

社会福祉費寄付金

▼株式会社サンゴマートから 一万一千円

▼加茂市民ゴルフ大会実行委員会から 十五万七千九百九十一円
▼織田香さん（神奈川県川崎市）から 十万円

人口のうごき

9月1日現在
世帯 10,251 (+ 4)
人口 30,133 (-13)
男 14,523 (-10)
女 15,610 (- 3)
()内は前月比
(8月異動分)
出生 13 (男 4 女 9)
死亡 28 (男16 女12)
転出 43 転入 45